

グローバルな事業展開

J-POWERは、海外における約50年の実績やノウハウを活かして、「海外発電事業」と「海外コンサルティング事業」に取り組み、低炭素社会の実現に向けて、世界の持続可能な発展に貢献していきます。

海外事業

■ 海外発電事業

1990年代後半から、自らの資本や技術を投入して発電事業に参画する「海外発電事業」に取り組んでいます。2013年3月現在、タイ・米国・中国など7つの国・地域で、425万kWの発電設備が稼働しています。これは当社グループ全体が保有する発電設備の約2割に相当する持分出力*1です。

さらに、タイとインドネシアでは、大規模な新規発電プロジェクトを進めています。タイでは、2013年に7件のSPP*2プロジェクト(出力 計79万kW)が順次運転を開始します。また、建設中の2件のIPP*3プロジェクト(出力 計320万kW)は、2014年および2015年に運転を開始する予定です。インドネシアでは、海外において当社初の高効率石炭火力プロジェクト(出力 200万kW)の着工準備を進めており、アジア市場における有力な発電事業者としてのポジションを確立しています。

今後、国内事業で培った石炭火力発電等の技術と知見を活かし、発展著しいアジア地域を中心にさらなる事業拡大を目指し、海外発電事業を国内事業と並ぶ当社事業の柱とすべく、取り組みを強化しています。

*1 各プロジェクトの設備出力に当社の持分比率を乗じて算出
 *2 SPP (Small Power Producer) プログラム：小規模発電事業者買取制度で、コジェネ等エネルギー効率の高い設備を促進する制度。
 *3 IPP (Independent Power Producer)：独立系発電事業者

■ 海外コンサルティング事業

海外において、電源開発や環境保全のための技術協力に関する「海外コンサルティング事業」を1960年代より実施しています。その実績は、2013年3月現在、63の国・地域で累計333件に達しています。

海外発電事業実績

(2013年3月末現在)

● 営業運転中	7カ国・地域	31件	持分出力425万kW
○ 建設中・計画中	2カ国	7件	持分出力395万kW

海外コンサルティング事業実績

63カ国・地域 333件

